

# 令和2年度（2020年度）公立はこだて未来大学 入学者選抜概要

## 1 募集人員

学 部 名	一般選抜入試		AO入試	特別選抜(推薦)入試			入学定員
	前期日程	後期日程		指定校	地域枠	全国枠	
システム情報科学部	135人	25人	20人	10人	40人	10人	240人

※システム情報科学部の定員は、情報アーキテクチャ学科120人、複雑系知能学科120人ですが、学部一括で入学者を選抜し、2年進級時に各学科へ配属します。

## 2 試験期日

### ◆AO（アドミッションズ・オフィス）入試 [9～12頁参照]

出願期間 令和元年 9月17日（火）～令和元年 9月27日（金）  
 第一次選考合格発表 令和元年10月18日（金）※選考があった場合  
 第二次選考 令和元年11月 2日（土）・3日（日）  
 合格発表 令和元年11月 8日（金）

### ◆特別選抜（推薦）入試 [13～15頁参照]

出願期間 令和元年11月 6日（水）～令和元年11月15日（金）  
 試験期日 令和元年11月30日（土）・12月1日（日）  
 合格発表 令和元年12月 6日（金）

### ◆一般選抜入試 [5～8頁参照]

出願期間 令和2年 1月27日（月）～令和2年 2月 5日（水）

#### (1) 前期日程入試

試験期日 令和2年 2月25日（火）  
 合格発表 令和2年 3月 7日（土）

#### (2) 後期日程入試（個別学力検査は課さない）

合格発表 令和2年 3月20日（金）

### 3 A O入試の選抜方法

大学入試センター試験を課さず，提出された志望理由書，自己推薦調書，自己推薦資料，調査書および本学が実施する「基礎学力検査」ならびに「面接」により総合的かつ多面的に評価し選考します。なお，選考にあたっては，必要に応じ，本人または高等学校等から聴取を行うことがあります。

#### (1) 第一次選考

志願者数が募集人員を大幅に超える場合には，出願書類審査により選考を行い，合格した者が，第二次選考の対象者となります。

第一次選考の有無については，10月11日（金）までに本人あて文書にてお知らせいたします。

第一次選考を実施した場合の合否結果については，10月18日（金）に本人あて文書にて通知します。

#### (2) 第二次選考

「基礎学力検査」および「面接」によって選考します。

期 日	試 験 内 容 等		
11月2日（土）	基礎学力検査	選 択 [1科目]	数学Ⅰ，数学Ⅱ 数学A，数学B（注1）
			情報科学（注2）
		デザイン（注3）	
		外国語	英語（注4）
11月3日（日）	面接（注5）	プレゼンテーション能力，自己アピール点， 本学に対する適性などを審査します。	

（注1）数学Bは「確率分布と統計的な推測」を除きます。

（注2）情報科学は，情報数学（二進数の計算等），論理（論理的考えができるか），情報社会（情報の社会的トピックス），アルゴリズム（手段的考えができるか），情報表現（情報メディアを用いた創造的思考を問う）の分野から出題します。（3問の必須解答とします。）

（注3）デザインは，与えられたテーマに対し，文章や，簡単な略画・図表などの視覚的な表現を用いて答える問題とします。

（注4）① 英語出題ポリシー [18頁参照]

② 英語辞書の持込み可

本学の考える辞書の活用意義とは，文章の要になるような単語・熟語の適切な意味や用例をその場で調べるといことです。そうした辞書の活用は，本学の英語教育（コミュニケーション）において実践的な英語力の一つと考えます。したがって，試験での辞書の持込みを認めます。

辞書の種類は，書籍型の英和，和英および英英とし，持込める冊数は各1冊です。電子辞書の使用は認めません。

付箋等はあらかじめはずしておいてください。また，辞書の余白部分に文章や文例等の書込みを用意し解答に使用するなど，本学の考える辞書の活用意義から逸脱すると判断される行為は，不正行為とみなす場合があります。

（注5）自己推薦資料の説明，質疑応答を含みます。

## 4 推薦入試の選抜方法

大学入試センター試験を課さず、区分により以下のとおり選考します。

○ **指定校**

出願書類および面接により総合的に評価し選考します。

試験は、2日目に実施する「面接」のみとなります。

○ **地域枠（北海道，青森県）・全国枠共通**

出願書類，基礎学力検査および面接により総合的に評価し選考します。

試験は，1日目が「基礎学力検査」，2日目が「面接」となります。

期 日	試 験 内 容 等		
11月30日(土)	基礎学力 検 査	数 学	数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B（注1）
		外国語	英語（注2）
12月 1日(日)	面 接	本学に対する適性，意欲などを審査します。	

（注1）数学Bは「確率分布と統計的な推測」を除きます。

（注2）① 英語出題ポリシー [18頁参照]

② 英語辞書の持込み可

本学の考える辞書の活用意義とは，文章の要になるような単語・熟語の適切な意味や用例をその場で調べるということです。そうした辞書の活用は，本学の英語教育（コミュニケーション）において実践的な英語力の一つと考えます。したがって，試験での辞書の持込みを認めます。

辞書の種類は，書籍型の英和，和英および英英とし，持込める冊数は各1冊です。電子辞書の使用は認めません。

付箋等はあらかじめはずしておいてください。また，辞書の余白部分に文章や文例等の書込みを用意し解答に使用するなど，本学の考える辞書の活用意義から逸脱すると判断される行為は，不正行為とみなす場合があります。

# 英語出題ポリシー

平成26年12月  
公立ほこだて未来大学入学試験委員会

英語の出題においては、高等学校学習指導要領等を踏まえつつ、以下のポリシーで出題しています。

公立ほこだて未来大学の英語の入学試験は、出題する文章と問題に独自の焦点を持たせています。主に、科学、デザインおよび技術に関する場面の中で、情報や考えを理解したり伝えたりする能力を下記のとおり評価することを目的としています。

また、試験において、辞書の使用を認めています。文章の要になるような単語の意味がわからないときに、単語の適切な意味をその場で見出すという辞書の活用は、本学の英語教育において実践的な英語力の一つと考えるためです。

## 記

### A. 読解力

- ・ 文章の要点や概要を理解する。
- ・ 質問の要点を明確にし、与えられた文章の文脈と照らし合わせて適切な答えを選ぶ。
- ・ 文章の中から特定の情報を見つける。
- ・ 論点を明確にする中で、その論点と文章の構成や図表などの関係に着目する。

### B. 文書構成力・表現力

- ・ 自分が聞いたり、読んだり、学んだり、経験したりしたことに基づいた情報や考え方について、一貫したまとまりのある文章を書き伝える。
- ・ 与えられた文章に示された情報に基づき、理論的で明快な文章を書く。
- ・ 論点を明確にする中で、その論点と文章の構成や図表などの関係に着目する。